

令和元年度 第1回 美祢市高齢者保健福祉推進会議 会議録（要旨）

日 時 令和元年12月12日（木） 14：00～15：15

場 所 美祢市役所3階第1・2会議室

出席者 委員12名（欠席5名）

議 題

- (1) 美祢市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況等について
- (2) その他

議事要旨

1 開会

事務局にて進行

2 会長挨拶

札幌会長より挨拶

～ 任期中の委員交代に伴い、新委員の紹介 ～

3 議事

(1) 美祢市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況等について

- ・ 美祢市高齢者保健福祉計画の進捗状況について、平成30年度及び令和元年度上半期の取組実績に基づき、事務局から自己評価結果と課題、対応策の説明を行う。
- ・ 第7期介護保険事業計画の進捗状況について、平成30年度及び令和元年度上半期の取組実績に基づき、事務局から計画値との対比分析、さらに国・県や同規模自治体（人口規模・人口密度・高齢化率）との各種指標を用いた地域分析について説明を行う。

○会 長 高齢者保健福祉計画に係る取組実績に係る自己評価や今後の課題について気になる点はあるか。

⇒事務局 概ね資料に記載しているとおりと認識している。

○委員A 資料P3に「基盤整備が必要である。」と記載されているが、どのような種別の事業所か。

⇒事務局 資料P11に第7期計画期間中の整備計画を示しているが、地域密着型サービスの「看護小規模多機能型居宅介護」について、事業実施に係る公募を行ったが、応募がない状況にある。

○会 長 第7期介護保険事業計画の進捗等については、如何か。

⇒事務局 先ほどの説明にもあったが、要介護認定率の低下に関して、介護予防サービス（介護予防訪問看護や介護予防通所介護リハビリテーションなど）の実績が計画値を上回る結果となっていることも、重度化防止に寄与していると推察している。

これに対し、介護サービスに関しては、介護サービス（訪問看護や通所リハビリテーションなど）は計画値に対して利用度が低くなっている状況については、今後精査していきたい。

○委員A 要介護度の重度化に伴い、より看護力・介護力の充実している通所介護（デイサービス）へ利用者がシフトしていることも一因と考えられる。

通所リハビリテーションについて、現在市内で対応可能な事業所は介護老人保健施設グリーンヒル美祢のみとなっているため、送迎体制から美東・秋芳地域で希望される市民へ対応できない状況にある。一部、訪問看護ステーションで実施される訪問リハビリテーションで対応するも、調整から実施までスムーズにつながっていない。

このことは、日常生活圏域間での地域格差が生じているため、その解消策を検討していただきたい。

○会 長 通所リハビリテーションの新設は無理があると思うが、リハビリに特化した通所介護（デイサービス）の実施など様々な検討の余地は考えられる。

⇒事務局 地域間格差の解消には努めたいと考えるが、現状の医療・介護資源を分析し活かせるものがあれば活かしたいと考えるし、対応が困難な場合は、次期計画に基盤整備を盛り込んで民間活力を活用できればと考える。

○委員B 要介護認定率が低下しているとのことだが、要介護認定に際しての基準等が厳しくなったといった状況があるのか。

⇒事務局 平成 30 年度当初に要介護認定ソフトの見直しが国において行われている。今回資料に掲載しているデータについては、同一条件下での結果となっている。

○委員A 美祢市内でも昨今在宅での「看取り」を希望されるケースが増えつつあるが、家族介護力の低い高齢者世帯が増え希望に添えないことが現状としてある。本人や家族の意向を支えるためにも、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」や「夜間対応型訪問看護」の導入・整備について検討されたい。

⇒事務局 当然必要とされるものであれば検討すべきと考えるが、次期計画策定の際に、当該事業に係る基盤整備を盛り込んでいく必要があるため、是非とも今後の本推進会議で議論・検討をしていただきたいと考える。

(2) その他

⇒事務局 本日机上に配布しているチラシについて、令和 2 年 1 月 18 日（土）に市民会館において、在宅医療・介護連携推進事業の一環として市民公開講座を開催するので、ふるってご参加をお願いしたい。

また、今夏美祢市において引き受けを行った「やまぐち地域医療セミ

ナー2019in 美祢」に参加された医学生等による「健幸カフェ」が開催されるので、こちらにもふるってご参加をお願いしたい。

4 閉会

(15 : 15 終了)